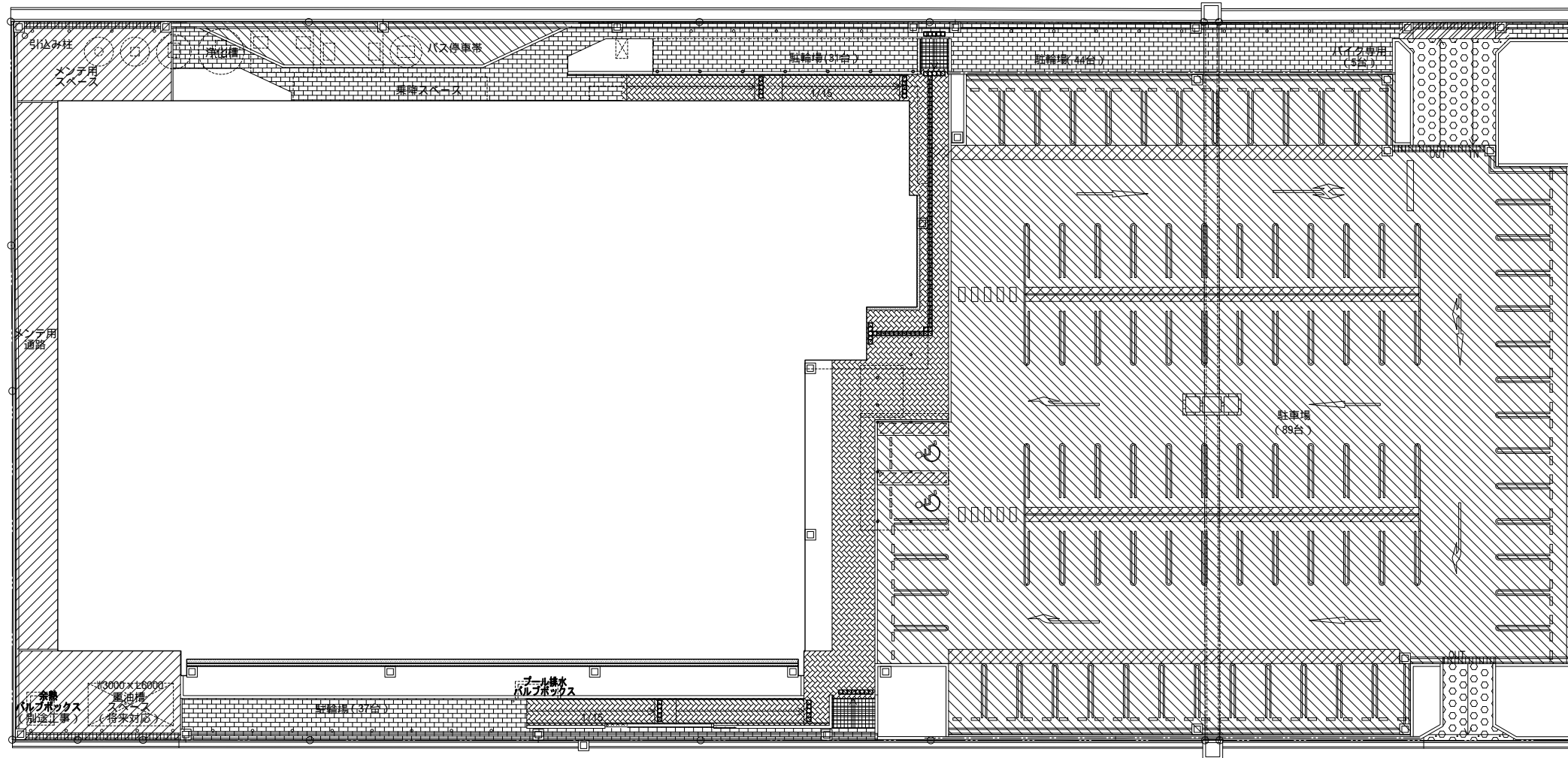
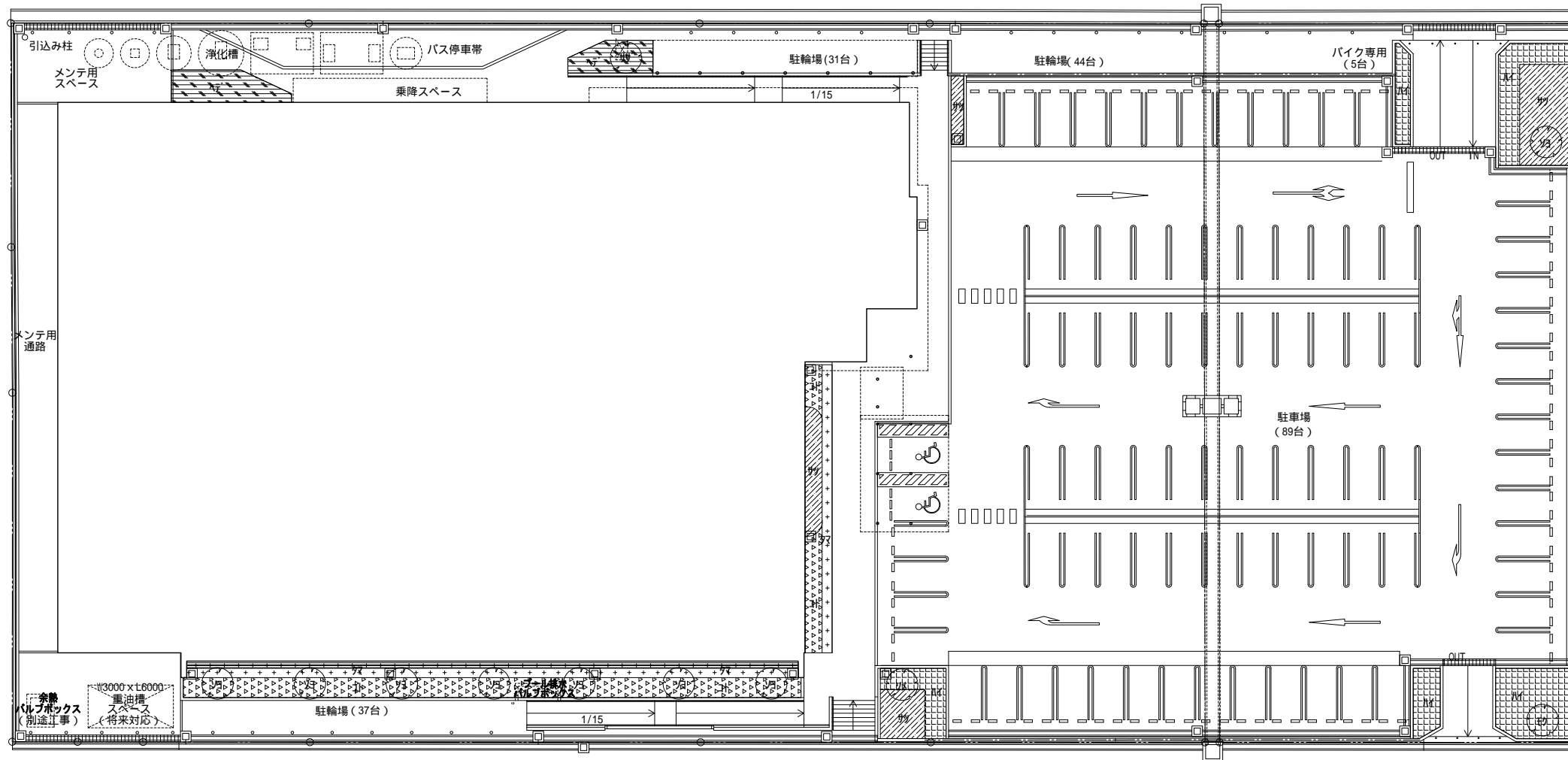


<p>株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	<p>設計番号 20170253 作成日 2021.03 種別/備考 一級建築士 NO.286010 担当 小柳 英治</p>	<p>工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 外構計画平面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400</p>	<p>図面番号 G-001</p>
---	---	--	-----------------------



舗装凡例		その他凡例	
	透水性アスファルト舗装 (車路用)		誘導ブロック (点状)
	アスファルト舗装 (駐車場用)		誘導ブロック (線状)
	ブロック舗装 (歩道用) 模様張		歩行者ゾーン/ホワイトカー舗装
	透水性ブロック舗装 (車路用)		
	透水性ブロック舗装 (歩道用) 模様張		
	擬石ブロック舗装		
	コンクリート滑り止め舗装		
	白玉石敷 W200		

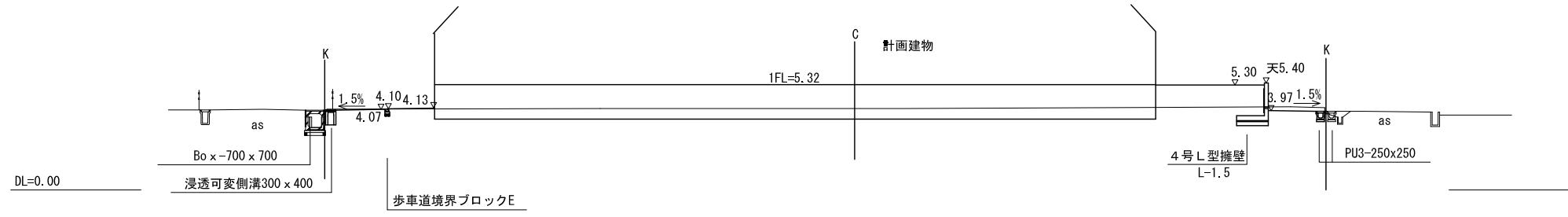
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 G-002
	一級建築士 NO. 286010 小柳 英治	担当		図面名称 舗装面平面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	



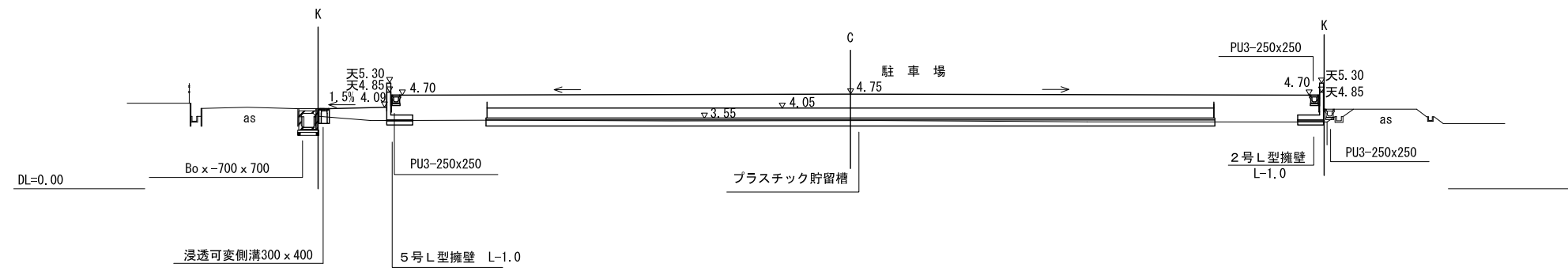
植栽凡例										
植樹帯	樹種	H	W	C	数量	備考	図案	種別/備考	客土	
植樹帯	ハイラギモクセイ	2.00	0.70			二脚鳥居支柱	ハイビヤクシン	L 0.5	9株/m ² 程度	客土t300
植樹	ソヨゴ (株立)	2.50	0.70			二脚鳥居支柱	コトネアスター	H 0.15	25 P / m ² 程度	客土t300
植樹	サザンカ	2.00	0.50			二脚鳥居支柱				
植樹	ソメイヨシノ	3.50	1.50	0.18		三脚鳥居支柱	タマリユウ		50株/m ² 程度	客土t300
別	サツキツツジ	0.30	0.40		6株/m ²		ヘデラ・ヘリックス		20 P / m ² 程度	客土t300

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 G-003
	一級建築士 NO. 286010	小柳 英治	担当				

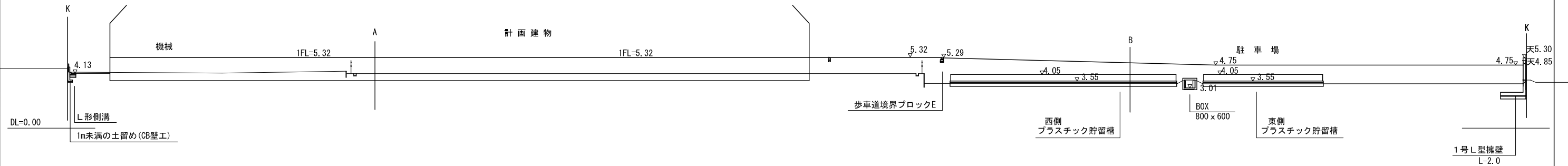
A断面



B断面



C断面



<p>株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	<p>設計番号 20170253</p>	<p>作成日 2021.03</p>	<p>種別/備考</p>	<p>工事名称 余熱利用施設建設工事</p>	<p>図面番号 G-005</p>
	<p>一級建築士 NO. 286010</p>	<p>担当</p>		<p>図面名称 造成断面図</p>	
	<p>小柳 英治</p>			<p>縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300</p>	

Dg-01 メッシュフェンス 1/30

材質仕様書

名称	材質	規格	名称	材質	規格
メッシュ本体	垂鉛めっき鉄線		固定金具	ステンレス	
支柱	溶融垂鉛めっき鋼管		コーナー金具	溶融垂鉛めっき鋼板	SGHC JIS G3302
支柱キャップ	溶融垂鉛めっき鋼板	SGHC JIS G3302	押え金具	溶融垂鉛めっき鋼板	SGHC JIS G3302
			ボルト等	ステンレス	

Dg-06 バリカー 1/15

クサリ・クサリ金具 SUS304 φ5×2.0M
化粧カバー SUS304 φ141×t1.5
埋込スリーブ ポリプロピレン 最大幅寸法158
パイプ SUS304 φ76.3×t2.0

Dg-07 ボード 1/15

化粧カバー SUS304 φ141×t1.5
パイプ SUS304 φ76.3×t2.0
反射シート 白

Dg-02 伸縮ゲート 1/30

基礎材 RC-40, t=100
コンクリート 18-8-25BB
D109730@250

★・・・ストッパー取付位置を示す。

Dg-06 屋外手摺-A 1/5

寸法 特製外、H=650 H=850
握り棒 SUS304 φ34 HL
金物 SUS304 HL

Dg-07 CB壁 1/10

コンクリートブロック 150×190×390
基礎砕石 C-4.0

Dg-03 二脚鳥居支柱 (添木付) 1/80

樹木と支柱の結束は、しゅろ縄掛けとし、2本どり3回巻きを標準とする。杉切丸木の端部はすべて面取り処理を行う。

Dg-04 三脚鳥居支柱 1/80

樹木と支柱の結束は、しゅろ縄掛けとし、2本どり3回巻きを標準とする。杉切丸木の端部はすべて面取り処理を行う。

Dg-05 階段工 1/15

擬石ブロック張舗装 スリット付
モルタル
D13@200
コンクリート (18・8・25)
基礎材 (RC-40)

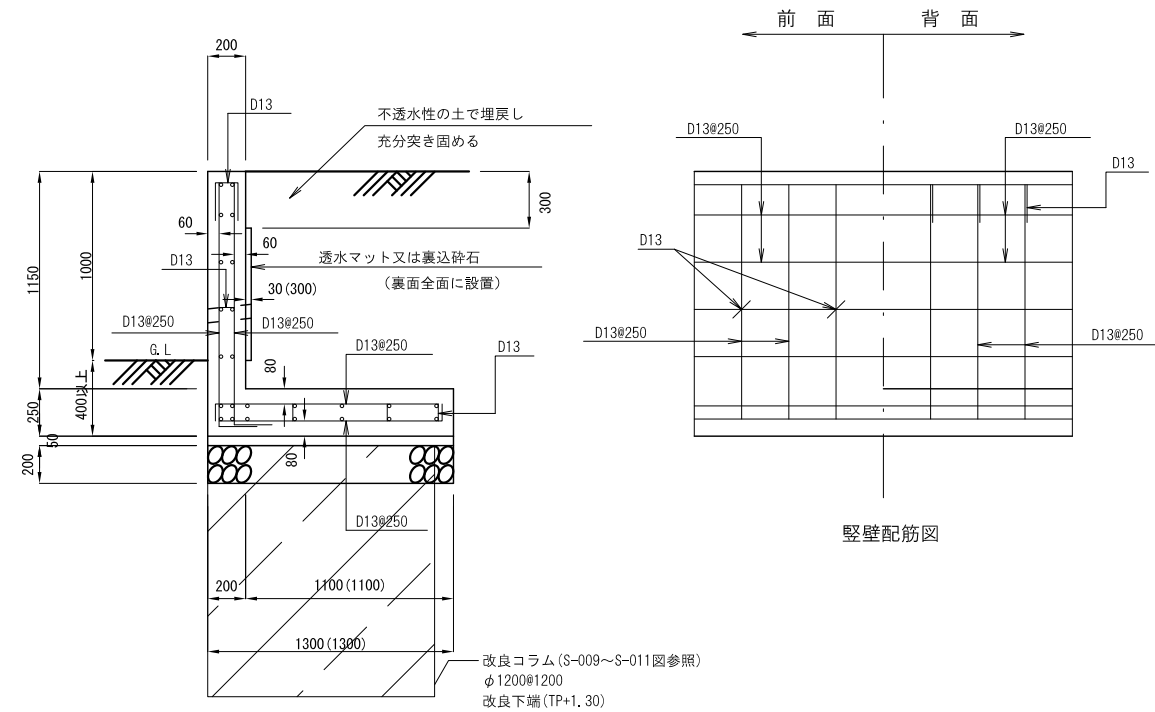
Dg-06 屋外手摺-B 1/5

握り棒 FB 4.5x19
アンカー 9φL=250
R-4.5 100x100
化粧プレート 38x25 t=2

Dg-07 CB壁 1/10

コンクリートブロック 150×190×390
基礎砕石 C-4.0

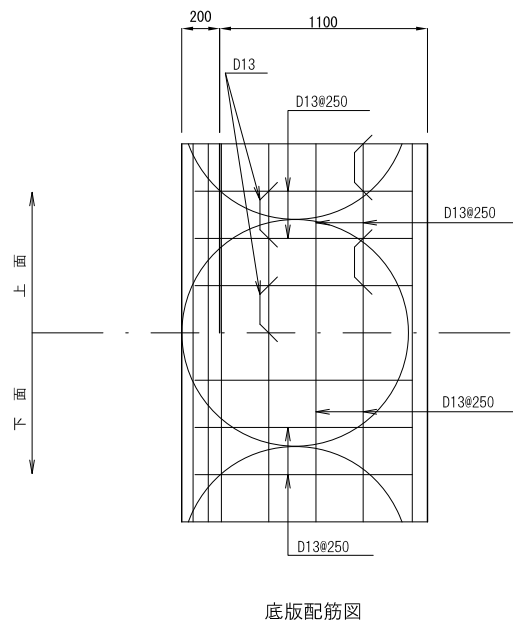
名古屋市（宅造用）L型擁壁
見かけ高さ1.0m（L-1.0）



底版幅
透水層に砕石、栗石等(厚さ30cm以上)を裏面全面に設置して用いる場合は()内数値まで底版幅を縮小できる

設計条件		
項目		単位
地耐力(砂質土)	80 (8.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ28)	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	-
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

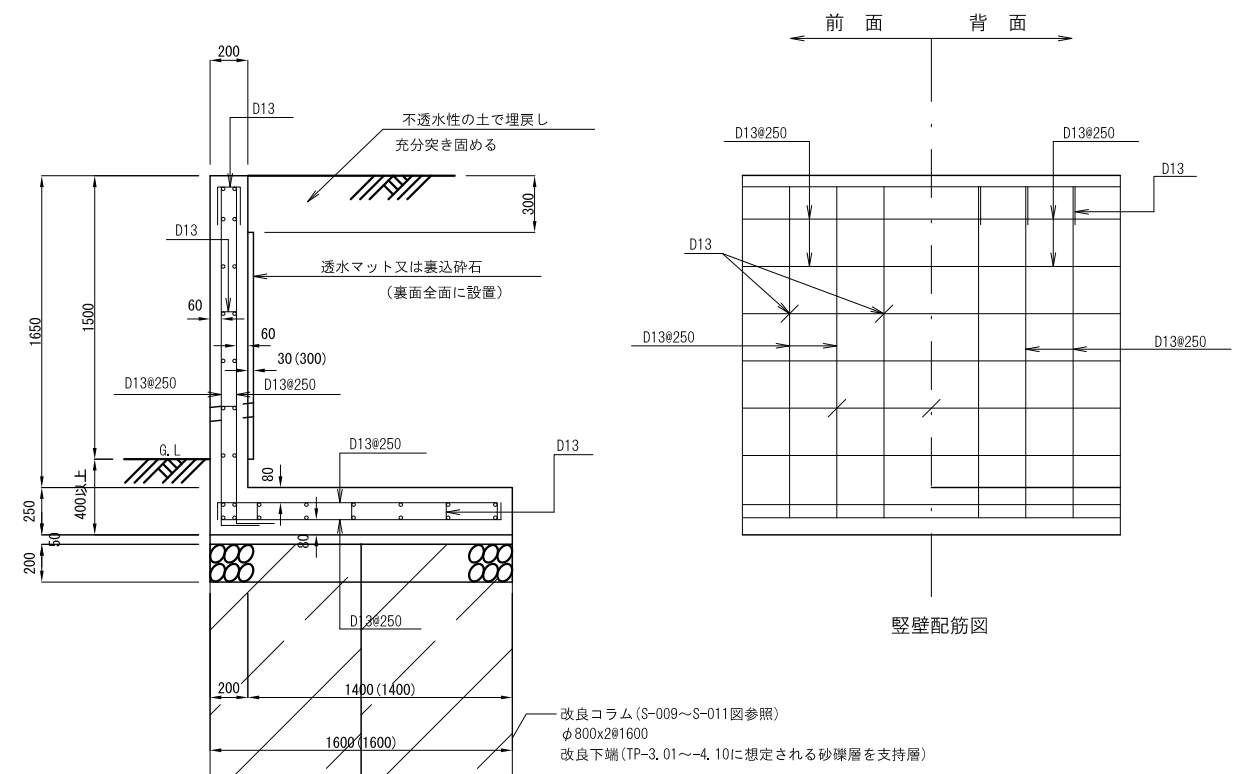
※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3㎡当り1箇所以上設けること
※本構造は透水層に透水マット使用の場合を示している



底版配筋図

※擁壁の設置に際しては現地にて平板載荷試験等を行い地耐力の確認をすること。
地耐力が下記の規定値に満たない場合は地盤改良等の措置を検討すること。

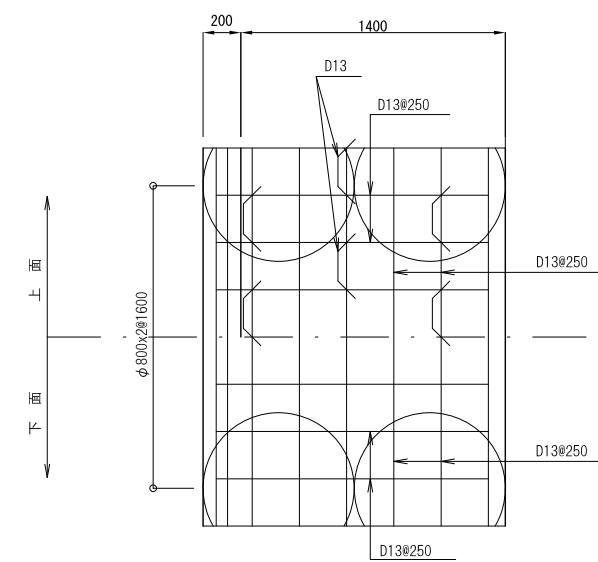
名古屋市（宅造用）L型擁壁
見かけ高さ1.5m（L-1.5）



底版幅
透水層に砕石、栗石等(厚さ30cm以上)を裏面全面に設置して用いる場合は()内数値まで底版幅を縮小できる

設計条件		
項目		単位
地耐力(砂質土)	100 (10.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ28)	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	-
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

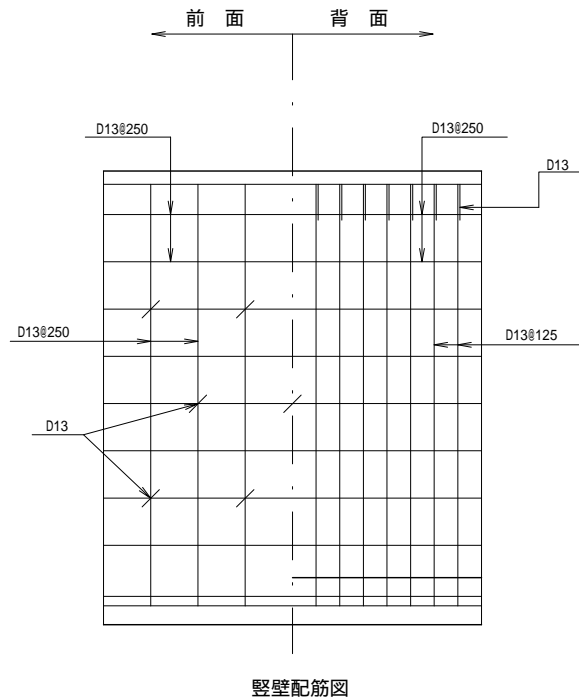
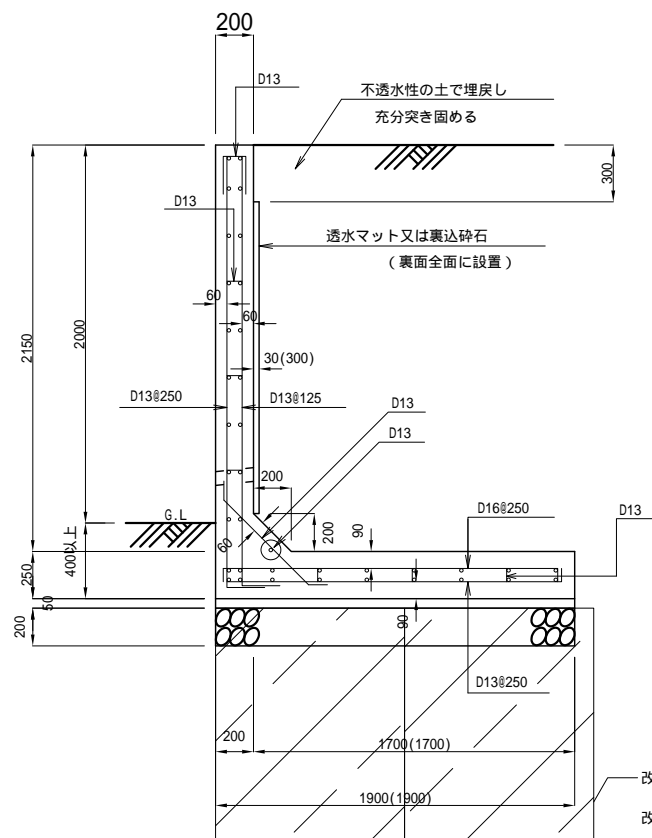
※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3㎡当り1箇所以上設けること
※本構造は透水層に透水マット使用の場合を示している



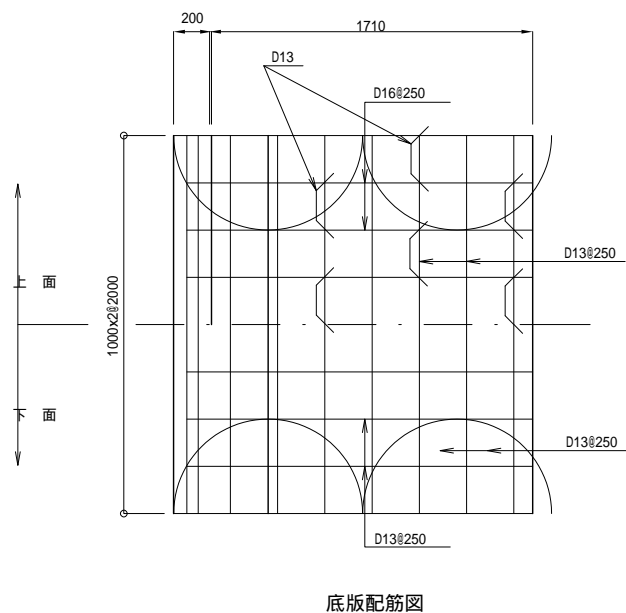
底版配筋図

※擁壁の設置に際しては現地にて平板載荷試験等を行い地耐力の確認をすること。
地耐力が下記の規定値に満たない場合は地盤改良等の措置を検討すること。

名古屋市（宅造用）L型擁壁
見かけ高さ2.0m（L-2.0）



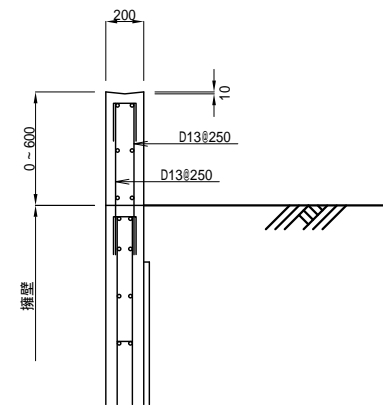
底版幅
透水層に砕石、栗石等(厚さ30cm以上)を裏面全面に設置して用いる場合は()内数値まで底版幅を縮小できる



項目		単位
地耐力(砂質土)	120 (12.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 25°以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(28)	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

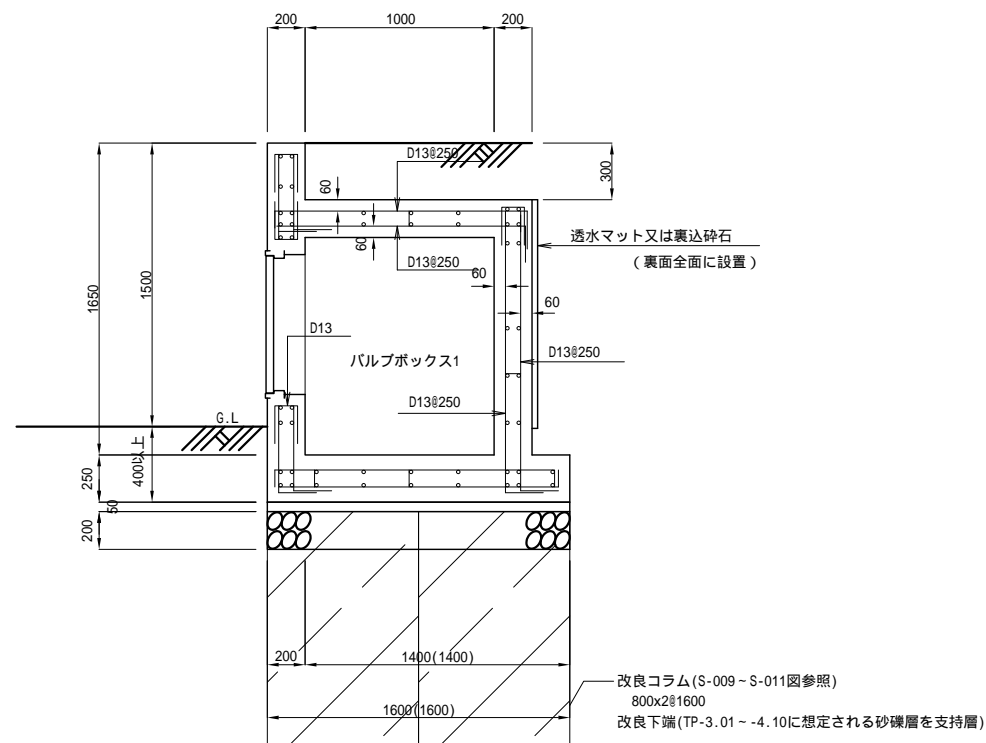
水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3㎡当り1箇所以上設けること
本構造は透水層に透水マット使用の場合を示している

擁壁の設置に際しては現地で平板載荷試験等を行い地耐力の確認をすること。
地耐力が下記の規定値に満たない場合は地盤改良等の措置を検討すること。



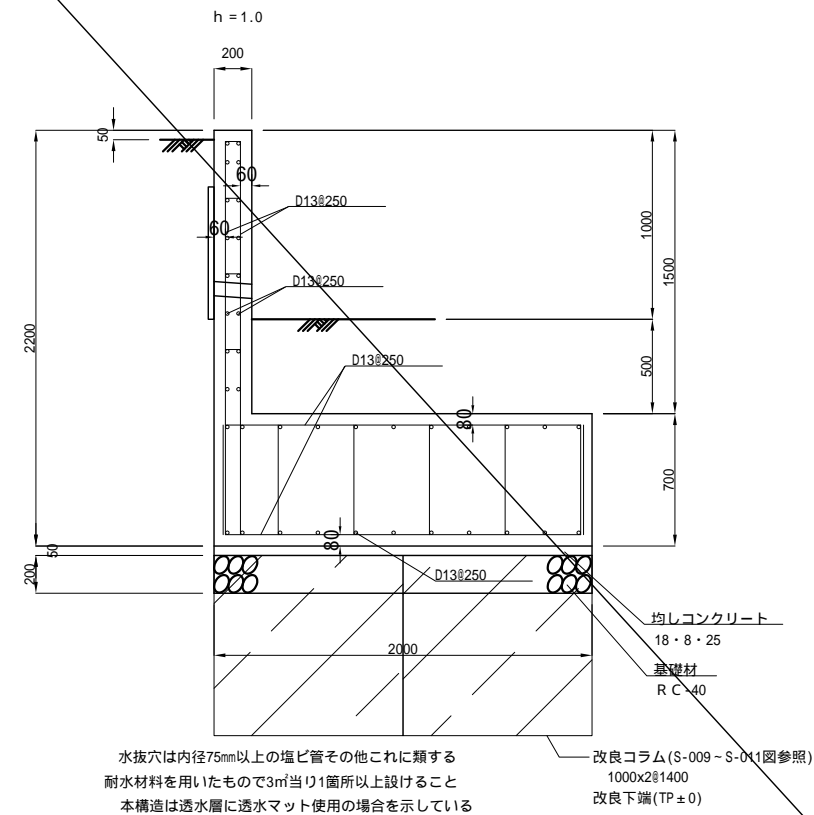
擁壁天端に設ける立上り壁は、最高600までとする。

配筋はL-1.5に同じ



改良コラム(S-009-S-011図参照)
800x2#1600
改良下端(TP-3.01~-4.10に想定される砂礫層を支持層)

1m未満の土留
RC壁工（任意擁壁）



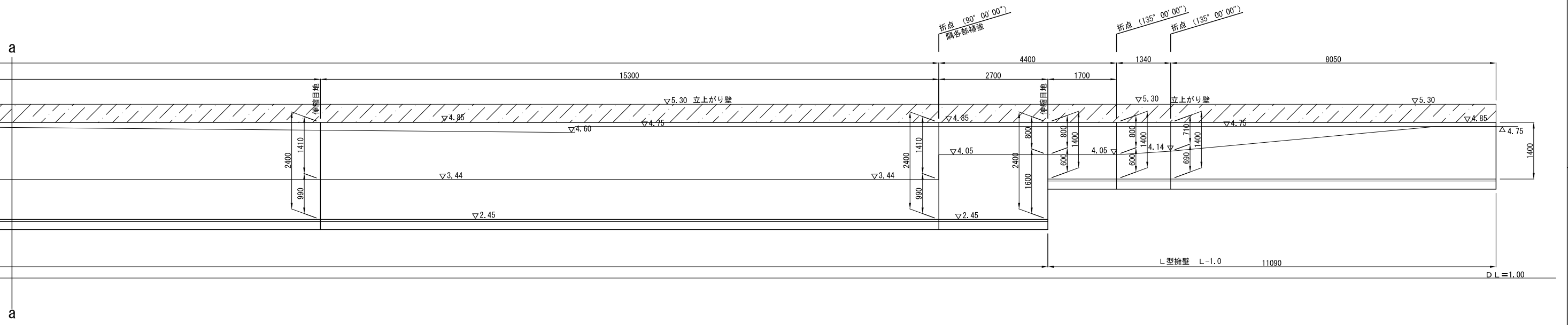
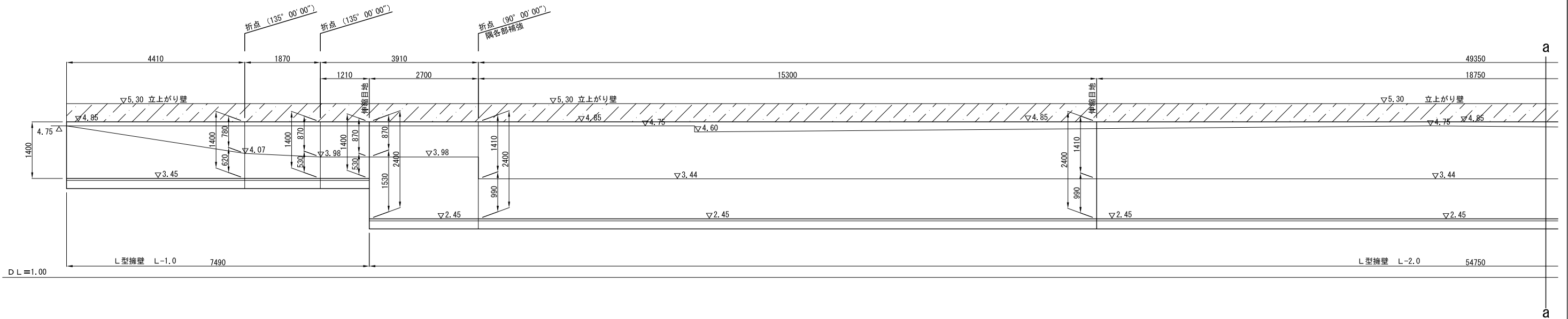
水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3㎡当り1箇所以上設けること
本構造は透水層に透水マット使用の場合を示している

均しコンクリート
18・8・25
基礎材
RC-40
改良コラム(S-009-S-011図参照)
1000x2#1400
改良下端(TP±0)

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 G-008
	一級建築士 NO. 286010 小柳 英治	担当		図面名称 擁壁詳細図 その2 縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40	

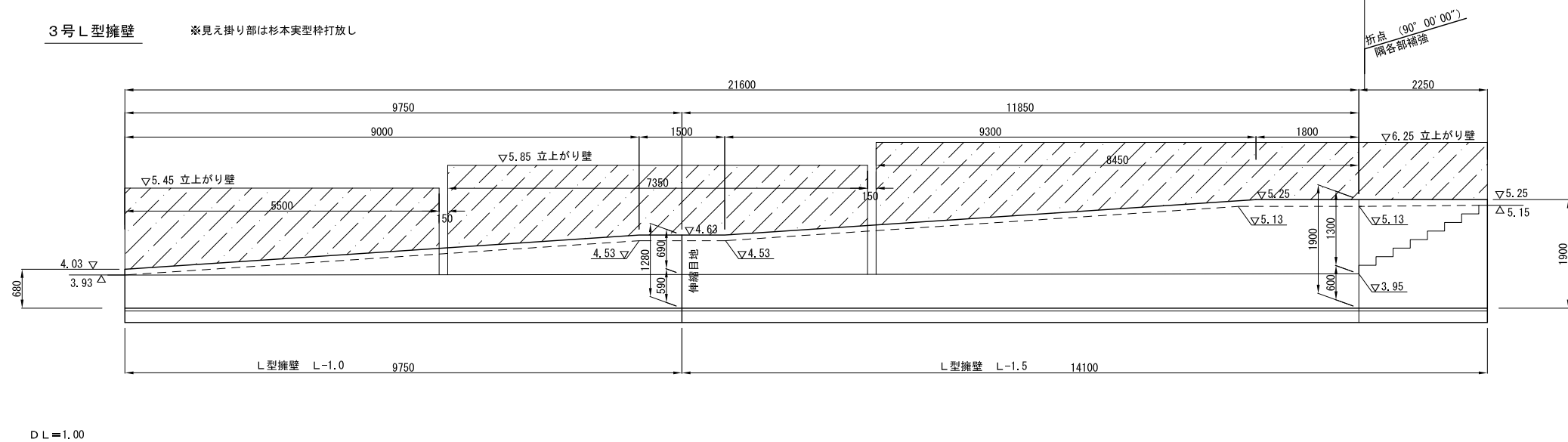
1号L型擁壁

※見え掛り部は化粧打ち放し 撥水材塗布



3号L型擁壁

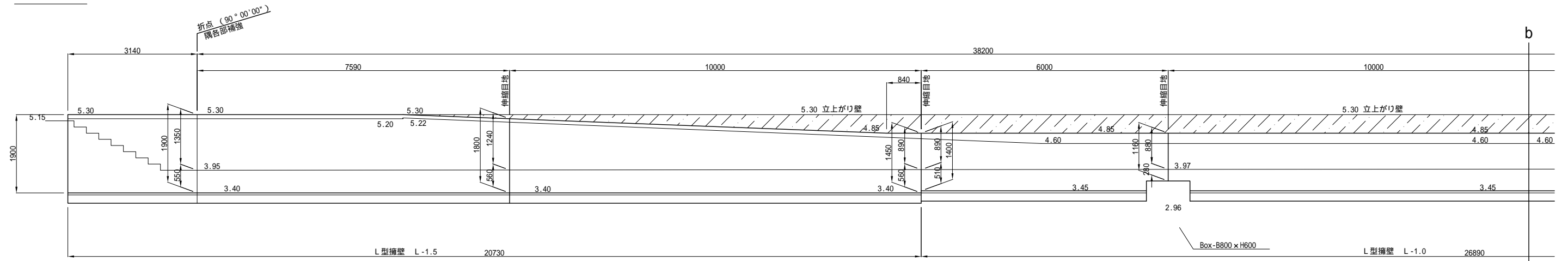
※見え掛り部は杉木実型枠打放し



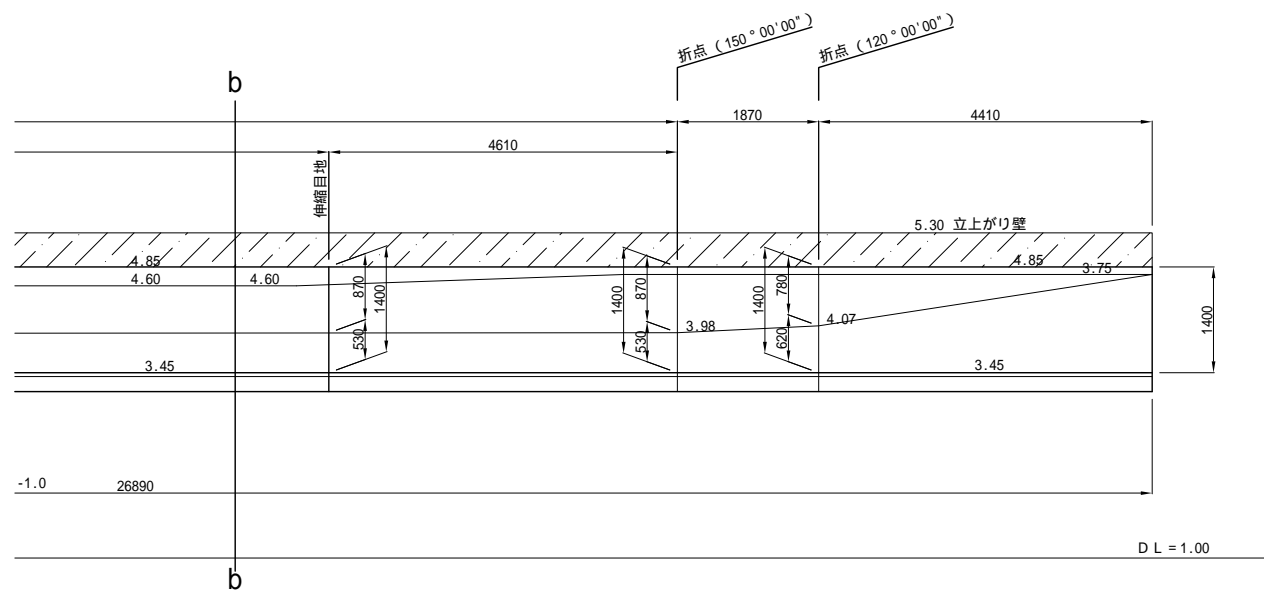
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称	余熱利用施設建設工事	図面番号 G-009
	一級建築士 No.	286010	担当			図面名称	擁壁展開図 その1	
	小柳 英治					縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	

2号 L型擁壁

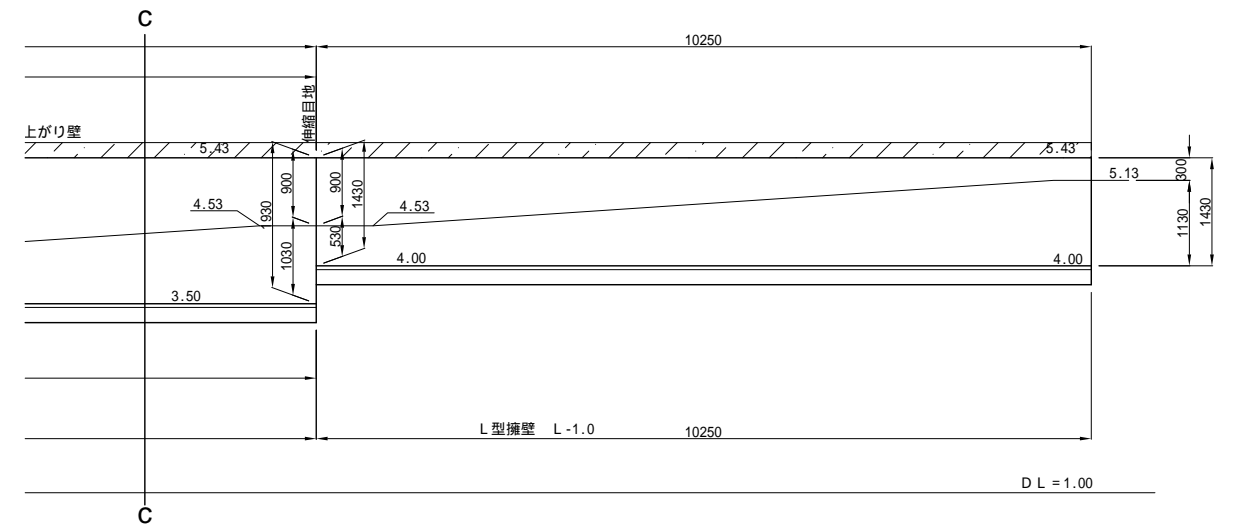
見え掛り部は化粧打ち放し 撥水材塗布



DL = 1.00



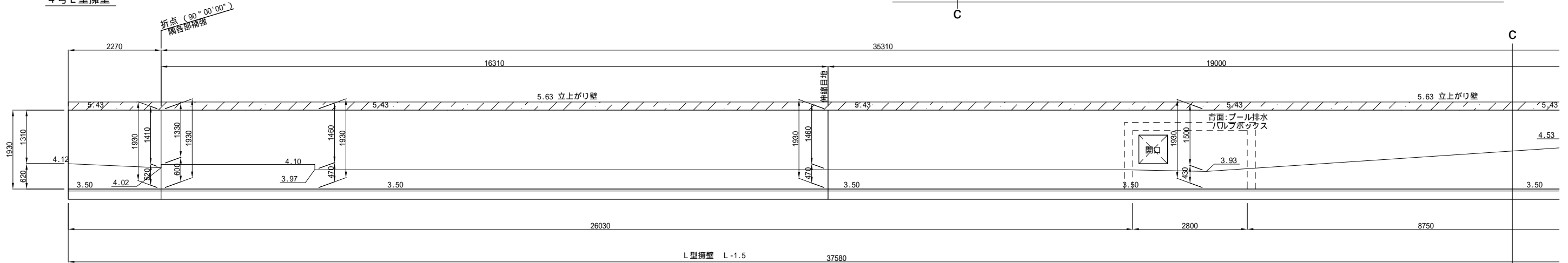
DL = 1.00



DL = 1.00

4号 L型擁壁

見え掛り部は化粧打ち放し 撥水材塗布

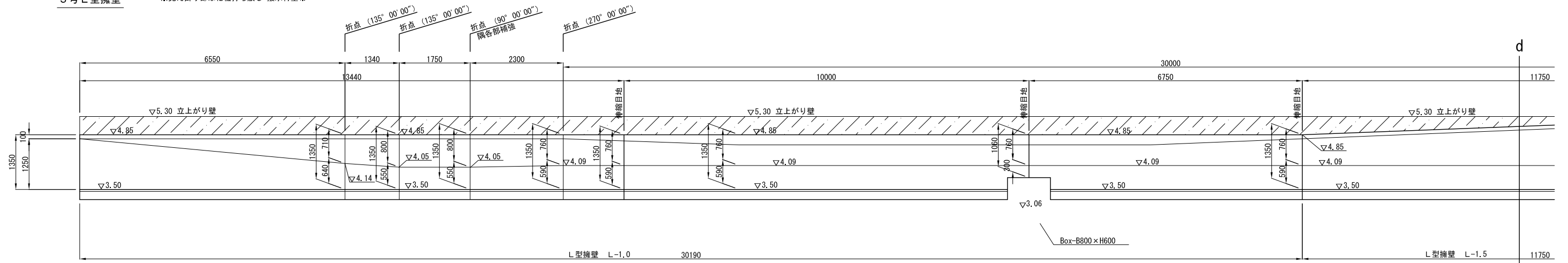


DL = 1.00

<p>株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称	余熱利用施設建設工事	図面番号	G-010
	一級建築士 NO.	286010	担当			図面名称	擁壁展開図 その2	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	
		小柳 英治							

5号 L型擁壁

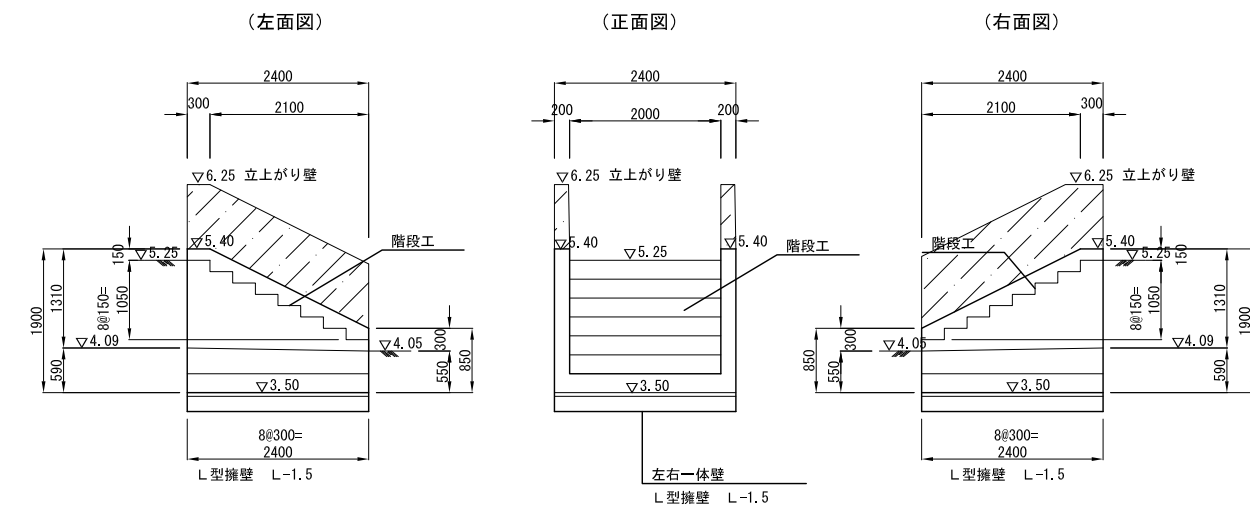
※見え掛り部は化粧打ち放し 撥水材塗布



DL=1.00

7号階段部 L型擁壁

※見え掛り部は化粧打ち放し 撥水材塗布

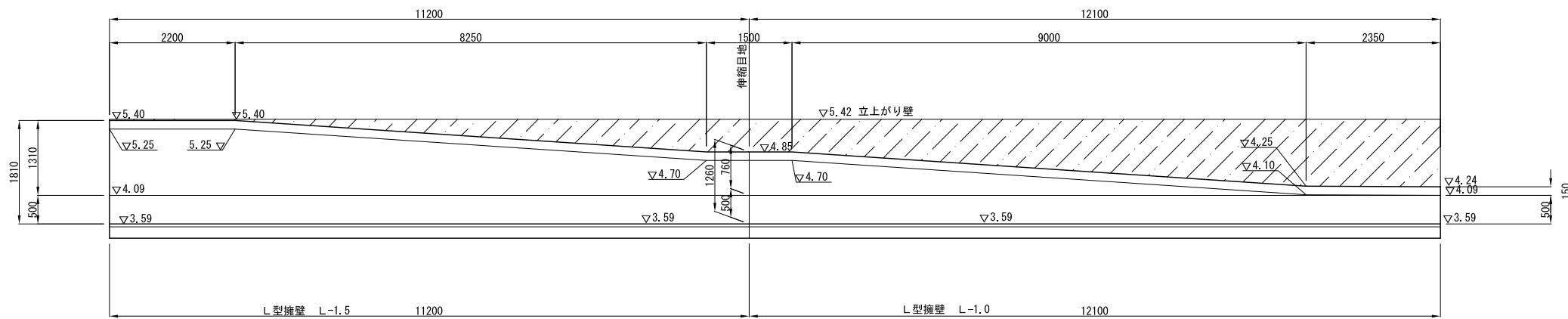


DL=1.00

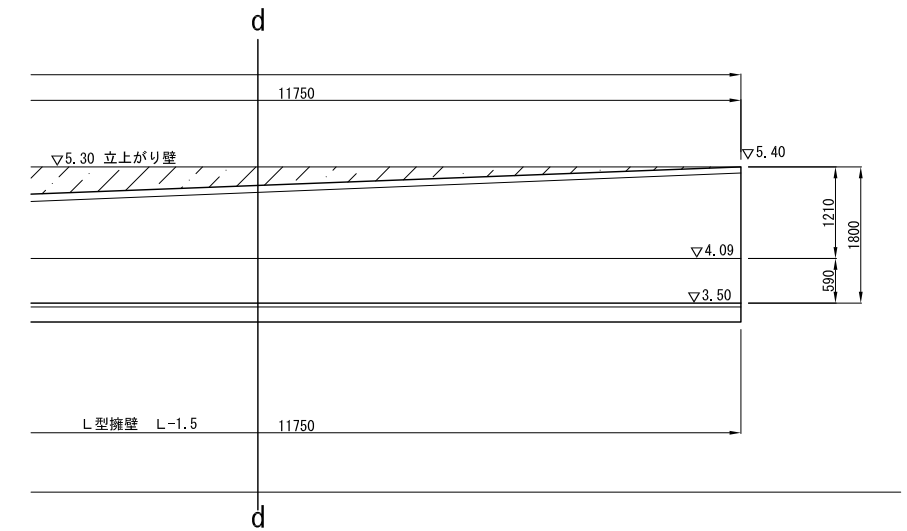
DL=1.00

6号 L型擁壁

※見え掛り部は化粧打ち放し 撥水材塗布

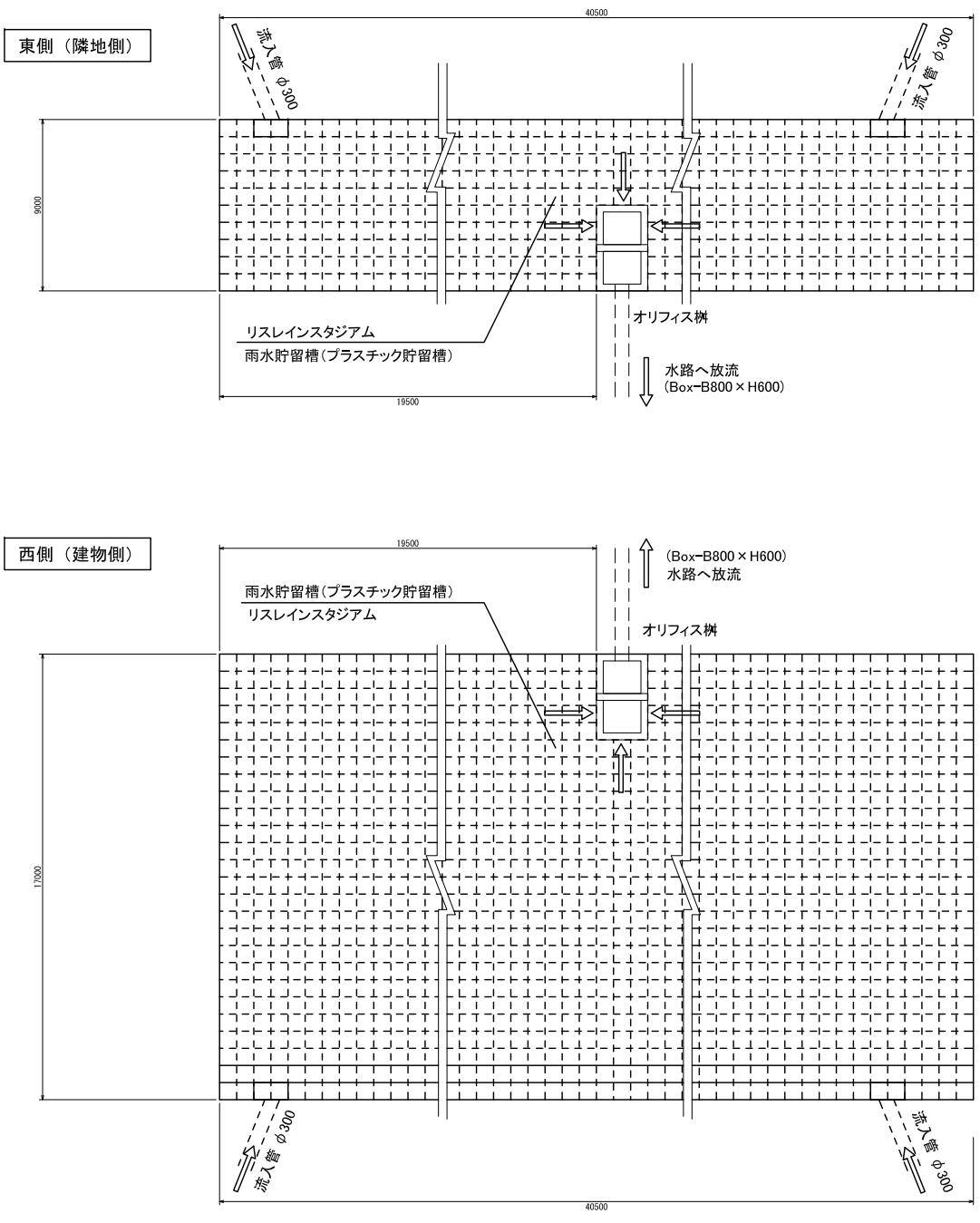


DL=1.00

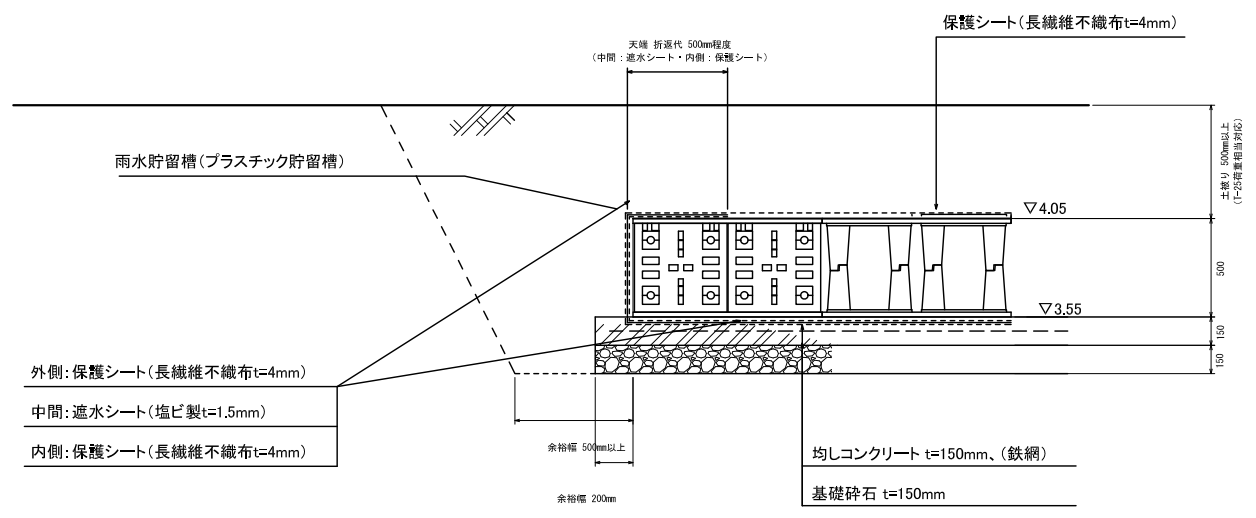


株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 G-011
	一級建築士 NO. 286010	担当		図面名称 擁壁展開図 その3	
	小柳 英治			縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	

平面図
S=1:200



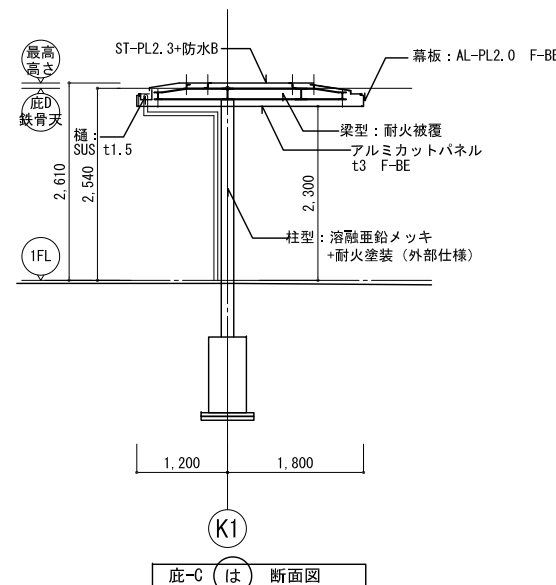
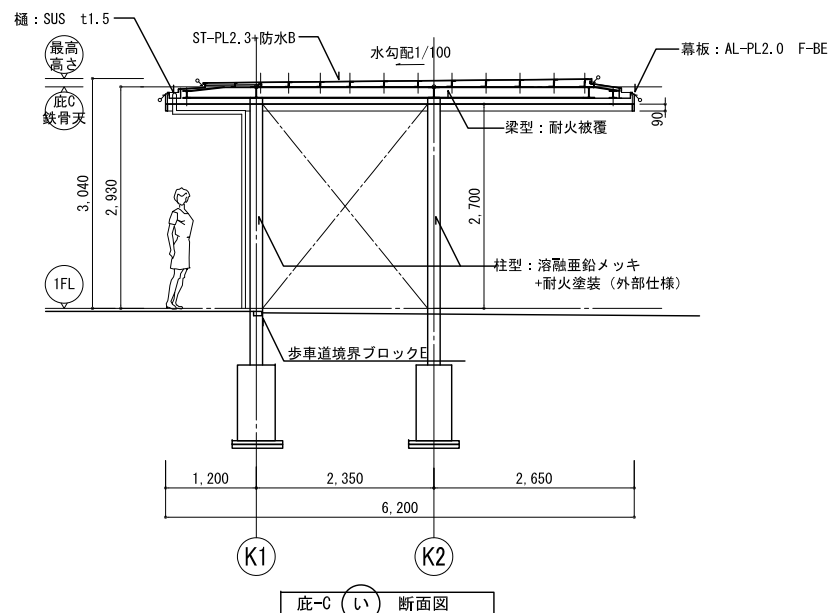
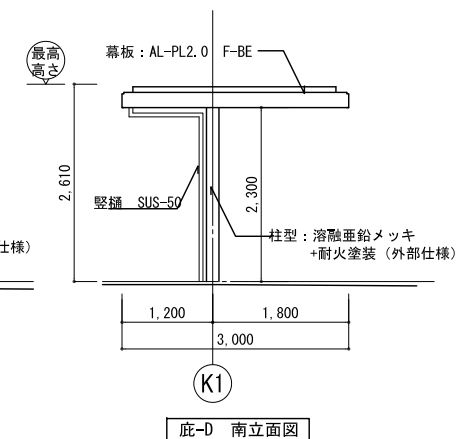
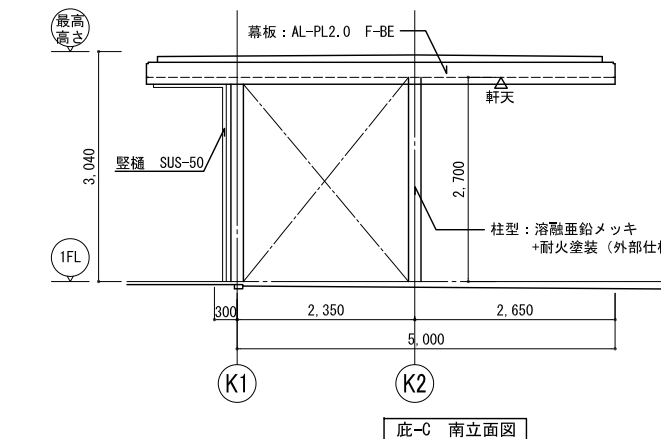
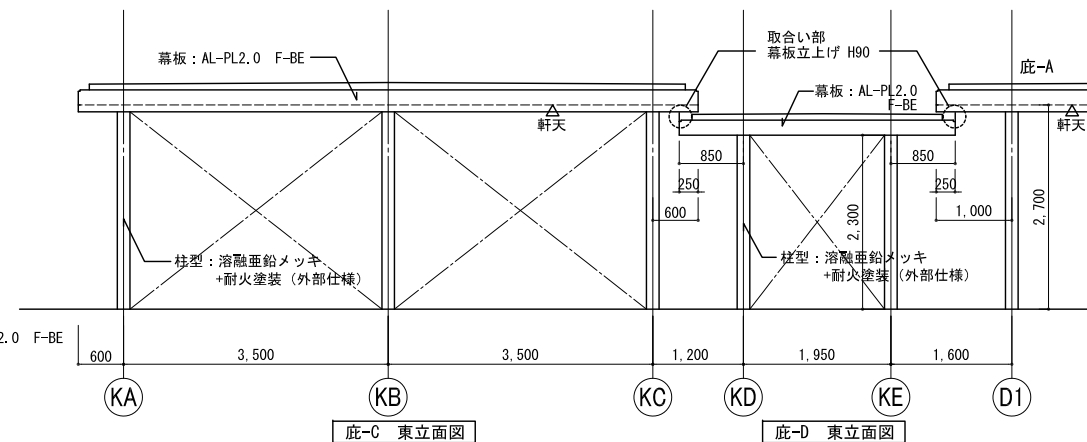
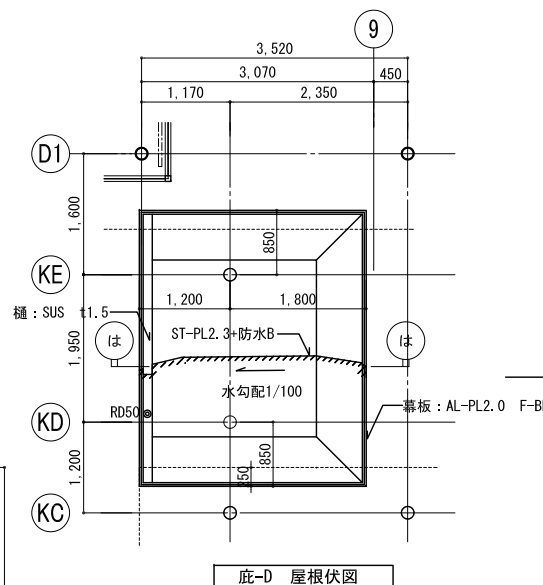
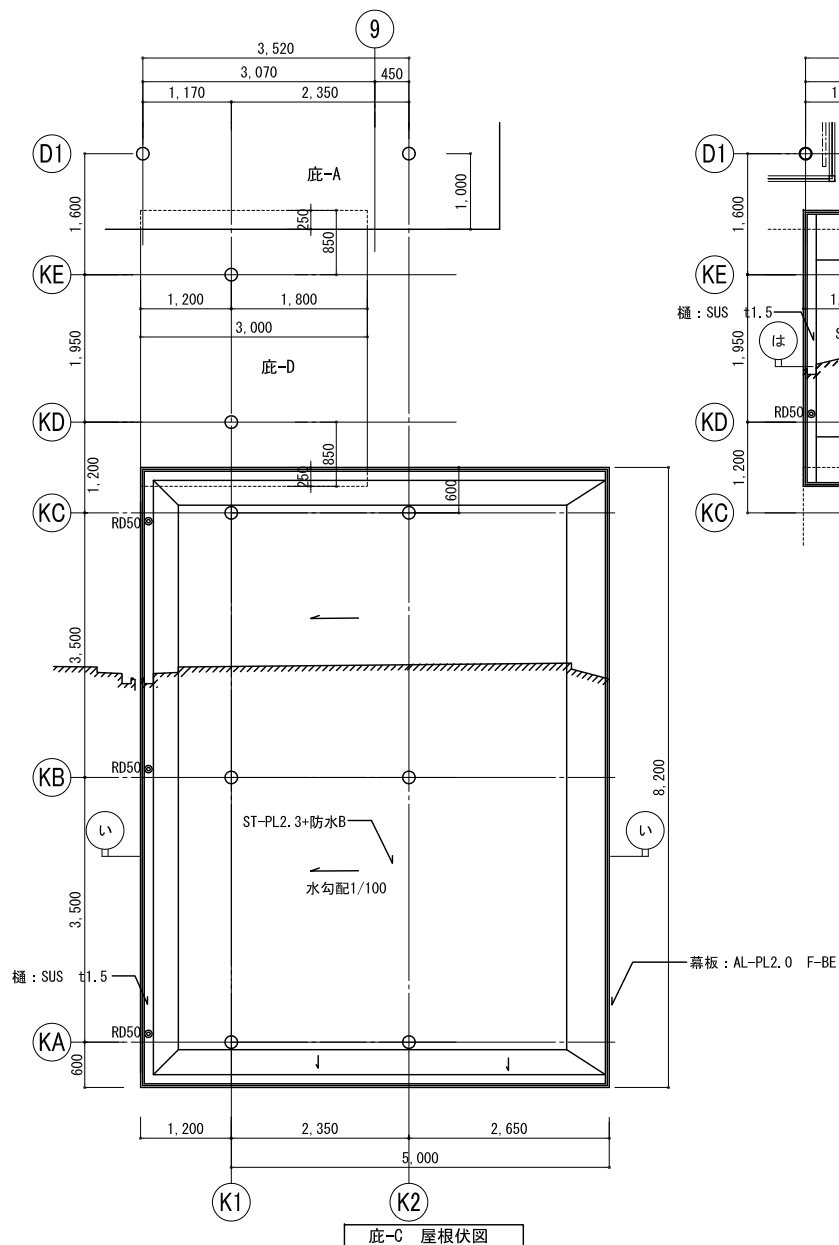
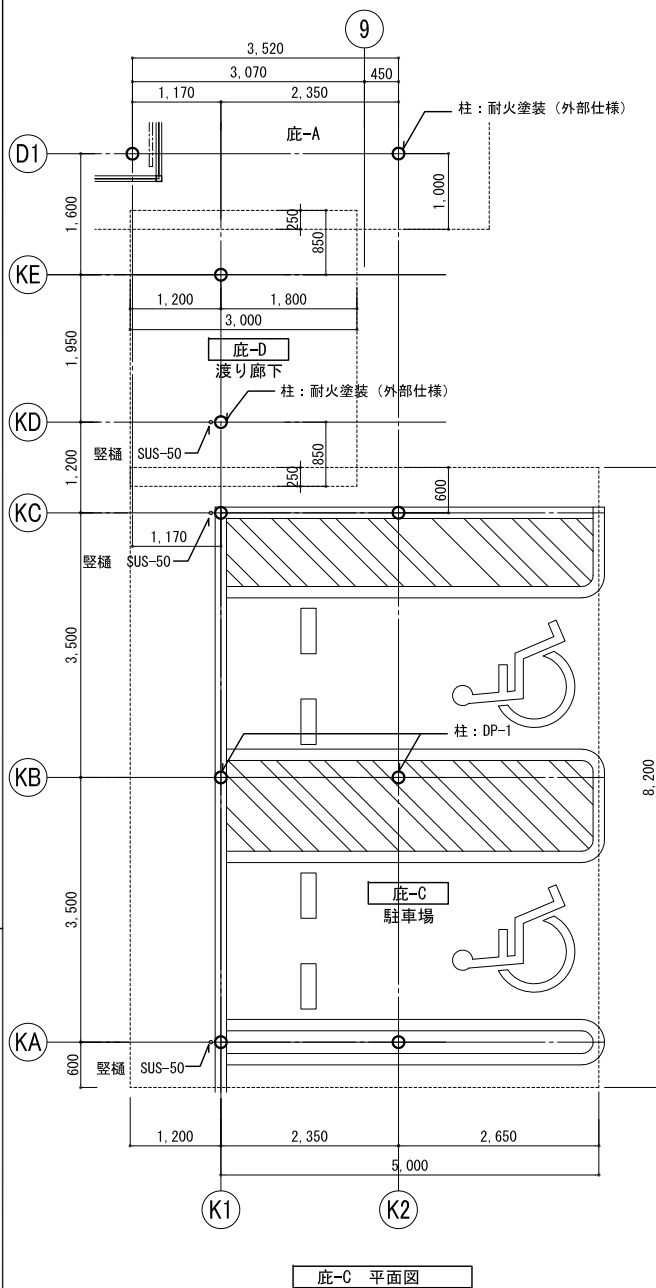
標準断面図
S=1:40



特記事項

- ・保護シートは、目付量400g/cm²以上とし、接合代は100mm以上確保すること。
- ・遮水シートは、軟質塩化ビニル製とし、接合代は100mm以上確保すること。
- ・雨水貯留浸透槽へ偏荷重が作用するような行為は行わないようご注意願います。
(槽上部および近くでの残土仮置き、建築工事時における槽上部でのクレーン作業(アウトリガー設置)等)
- ・埋戻の際には、槽上部に土砂を仮置きし、偏荷重がかからないよう丁寧に埋め戻してください。
- ・掘削時、貯留槽に浮力が生じる位置に地下水、湧水が確認された際は、浮力に対する安全性を確認すること
(状況によっては、槽高さの変更、湧水処理工の実施。または、工法の変更も含め再検討を実施すること。)

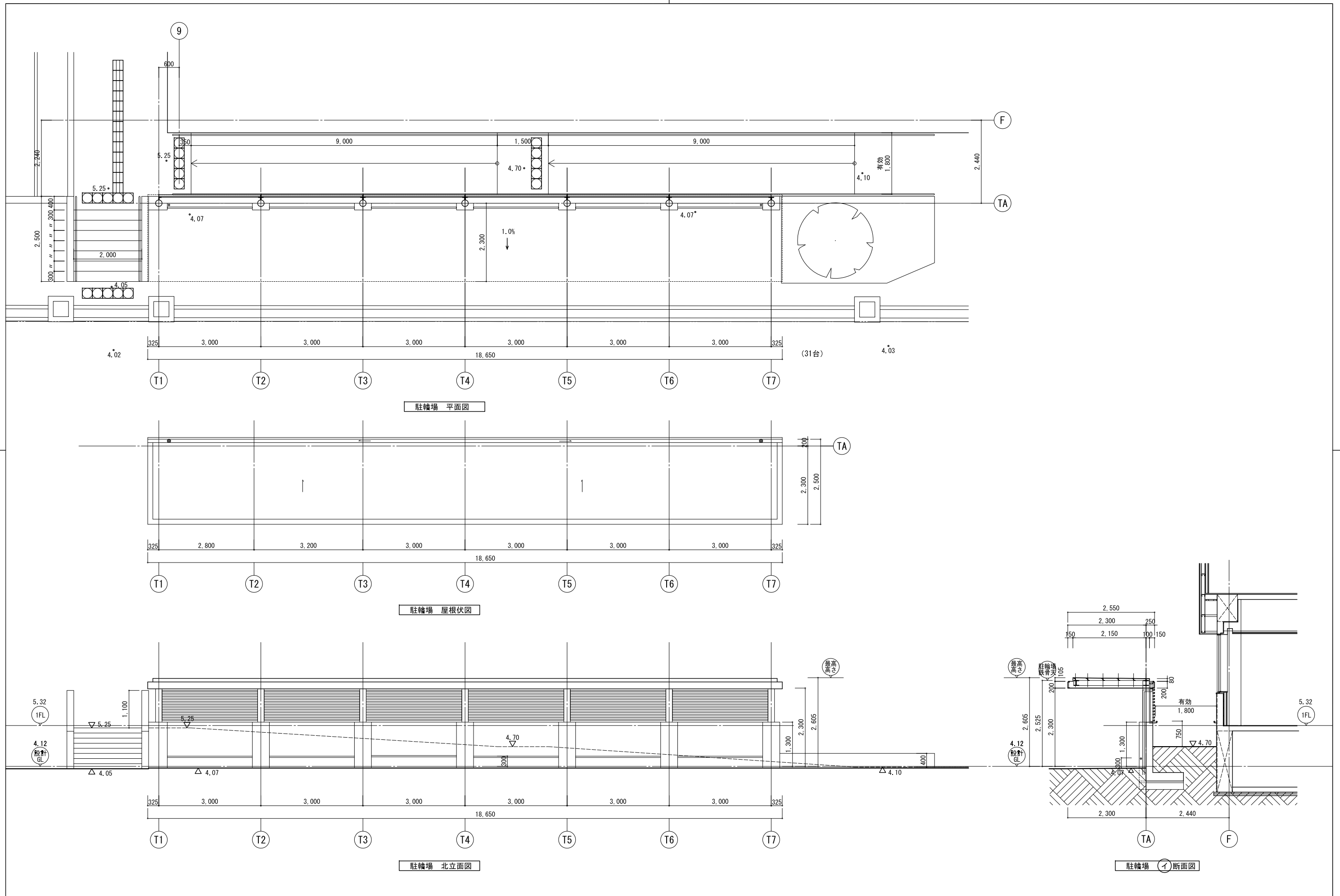
<p>株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称	余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 NO.	286010	担当			図面名称	雨水貯留槽詳細図 その1 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	
		小柳 英治						G-012



庇屋根詳細は庇-Aに準ずる。

F-BE フッ素樹脂焼付塗装(シルバー)

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 G-014
	一級建築士 NO. 286010	担当 小柳 英治		図面名称 庇C・D 詳細図	



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 G-015
	一級建築士 NO. 286010	担当		図面名称 駐輪場 詳細図	
小柳 英治	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100				